

【ホップ】では地域の小学校・南山城支援学校に通う児童が元気いっぱい活動しています。子ども達は遊びを通じて挑戦すること・待つこと・譲ること・協力することを経験しています。時にはケンカもあるけれど、握手で仲直り！そうやって少しずつ仲間作りを楽しむ毎日です。

ホップには大きな庭があり自転車やかけっこの練習をしています。また、セラピードッグの「ひまわり」がやってきたり、読み聞かせサークル『おはなしポケット』といった地域のボランティアの方々も来て下さるので、児童も毎月楽しみにしています。

春には御霊神社の藤棚、夏には山城郷土資料館で勾玉作り、秋には恭仁京のコスモス、冬には浄瑠璃寺と四季折々のふるさと木津川市をフィールドに、見て・聴いて・触って心に触れる活動に取り組んでいきたいと思っています。



【ステップ】では、学齢期中期の児童が活動しています。集団活動の中で、他者への意識を高めることや社会性を身に付けるなど、児童一人ひとりの発達段階や特性などをみながら支援を行っています。日々のプログラムでは、創作活動やゲーム、おやつ作りや外遊び、音楽など様々な活動をしています。創作では、1年を通して作成した作品をカレンダーにしておうちの方にも見ていただいたり、夏休みなどは電車に乗ってお出かけするなど、児童とともにワクワクするような体験活動を多く取り入れるようにしています。



思春期、反抗期の児童もいれば、まだまだ甘えん坊のイタズラ好きな児童もいたり様々ですが、心身ともに変化が現れるステップの児童たちのその変化をくみ取りながら、新しい発見を共にできるような活動を心掛けています。

【ジャンプ】では、中学生から高校生までの児童が集団で活動しています。日々の活動は主に季節を感じ体感出来るような創作やおやつ作り、体力作り等を行っています。創作活動では個々の個性やイメージを大切に出来るように色彩を組み合わせるオリジナルの作品を作るなど、高学年ならではの想像力を膨らませるような活動を行っています。また、地域の公共機関にある施設の音楽室をお借りし、音楽療法の先生と一緒に、ドラムを使った音楽活動も行っています。ドラムセットをたたいて注目をあびる児童達は、とても誇らしげな表情を見せてくれます。

色々な体験や経験を通し、子ども達と一緒に“見て、聞いて、感じて”楽しめる活動をしていきたいと思っています。



【わっか】は、新たに始まった“目的別療育事業所”です。活動内容は以下のようになっています。

(月・金曜日)『高等部2～3年生を対象とした療育活動』

社会人になる前の準備段階として位置づけた支援提供を目指しています。集中すること、ルールを守ること、自分の気持ちを表現すること、社会の危険を学ぶことなど…。卒業を目前に控えた児童だからこそ、しっかりじっくり関わっていききたいと思っています。

(水曜日)『地域小学校在籍児童のための療育活動』

最近、地域小学校の支援学級や普通学級に通う児童の利用が増えています。なかには、高機能自閉症やアスペルガー、情緒障害といった発達のしんどさなどによる悩みを抱えている児童も少なくありません。高学年は、授業終了も16時前と遅いため、下校が早い水曜日のみ、じっくり支援を提供することができます。児童が互いに切磋琢磨して過ごすことで、友達作りについて考えたり、一緒に遊ぶ楽しさを知ることを目指して支援していききたいと思えます。

(木曜日)『ゆったりデイ』

肢体不自由な児童とスタッフが、マンツーマンで関わる方がその児童の良さを引き出せるのではないかと考えた活動です。

じっくりゆったり活動することで児童の様々な表情や活動を引き出そうとしています。パラバルーンはみんなが大好きな活動です。じっくり関わっていききたいと思っています。

